

JISRAM について

法人名称：一般社団法人日本生殖鍼灸標準化機関
(Japan Institution for Standardizing
Reproductive Acupuncture and Moxibustion)

【顧問】

久保 春海 先生 (元東邦大学第一産婦人科教授)
森本 義晴 先生 (日本 IVF 学会前理事長)
渡邊 浩彦 先生 (京都・醍醐渡辺クリニック院長)

【推薦者】

小田原 靖 先生 (東京・ファティリティクリニック東京)
塩谷 雅英 先生 (兵庫・英ウイメンズクリニック)
俵 史子 先生 (静岡・俵 IVF クリニック)
松田 和洋 先生 (鹿児島・松田ウイメンズクリニック)
松山 毅彦 先生 (香川・厚仁病院産婦人科)
向田 哲規 先生 (広島・広島 HART クリニック)
吉田 仁秋 先生 (宮城・仙台 ART クリニック)

【役員】

代表理事・会長 中村 一徳 (京都・中村第二針療所)
業務執行理事・副会長 三瓶 真一 (福島・三瓶鍼療院)
業務執行理事・事務局長 徐 大兼 (東京・アキュラ鍼灸院)

事務局 〒150-0002 東京都渋谷区 1-3-8
第二栄来ビル8F アキュラ鍼灸院内

JISRAM のあゆみ

2011年10月 日本鍼灸師会全国大会札幌大会にて、中村、三瓶、徐の三名で、JISRAM 前身となる不妊鍼灸ネットワークの設立を話し合う。



札幌の学会会場前で。左から、徐(アキュラ鍼灸院)、中村一徳(なかむら第二針療所)、三瓶。この後、ポプラ並木を歩いて、夢を語り合いました寝台特急北斗星で、札幌から福島まで帰り、そのまま仕事したことは良い思い出。

2012年 5月 京都にて不妊鍼灸ネットワークを設立。
会長・中村一徳、副会長・三瓶真一、事務局長・徐大兼、会員はわずか9名



京都・なかむら第二針療所の前で。この後、研修を開催するたびに会員が増えていった。



鍼灸の不妊治療では国際的な、名古屋・明生鍼灸院の鈴木院長、木津副院長を会員に迎え、会の成長はめざましかった。

2017年7月 不妊鍼灸ネットワークを解散し、あらたに一般社団法人 JISRAM を設立し、第1回目の研修会（名古屋）



一気に会員が増え、50名以上の大所帯に。研究テーマごとにさまざまな分科会ができて、三瓶は男性不妊研究会の【おたまじゃくしの会】へ入りました。

ほか、膠原病と不妊、ストレスと不妊とか、いろいろな分科会があります。

JISRAM での研究・研修で得たこと

1) 体外受精などでの、卵子の質の改善、採卵成績向上について 低出力レーザーと陰部神経刺鍼通電法を組み合わせ、3~5周期行うことにより、卵巣機能改善を目指します。その間の治療頻度は2週に3回以上がベストです。



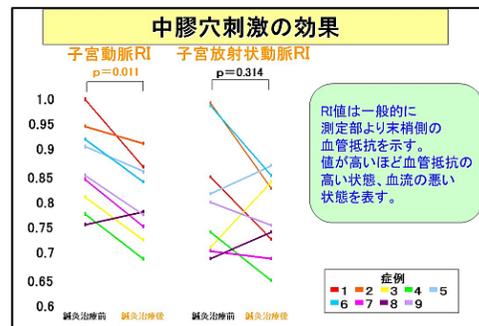
会員の刺鍼技術の審査をしているのは、恥ずかしながら三瓶です。

みなさん上手に鍼を目的のツボに打っているでしょうか？！失格すると正会員になれないということで審査が厳しいと良く言われますが、患者さんの身になれば当たり前です。

この日は、全員合格となりました。ほか、医師国家試験での産婦人科分野から100問出題され、80点以上取得しないと不合格とか、年に3回の研修で2回以上参加。2年間で4回以上研修に参加しないと準会員に降格とか、なかなか厳しい会です。

2) 着床、流産の予防について 子宮血流の改善

中髎穴刺鍼法(ちゅうりょうけつしんぼう)という刺鍼術があり、この技術は術後に子宮動脈・子宮放射状動脈の血管抵抗が低下する(血管抵抗が低下する=血行が改善する)ことが実験的に証明されています。



グラフが右肩下がりなのは、術後の血管抵抗 (RI) が低下していることを示しています。鍼治療を行うと子宮内膜が厚くなり、質も改善し、着床しやすく流産の予防に効果がある可能性を示唆しています。

当院の学会発表、講演、院内研修等

三瓶鍼療院では、不妊症・生殖医療分野での学会発表を積極的に行い、また全国各地の鍼灸師会などで講演を行い、不妊症治療での鍼灸の有用性を普及しています。



東京大学医学部で開催された第66回全日本鍼灸学会で発表中の三瓶。演題は男性不妊の鍼灸治療でした。鍼灸は男性不妊にも良い効果が期待できます。

また地元・福島県鍼灸師会の会員に対しても、常に技術を伝え、県民の皆様の福祉と健康の向上に注力しています。

